



流域治水プロジェクトの更新について

令和8年3月23日

広島県 土木建築局 河川課

「流域治水」とは、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、
集水域から氾濫域にわたるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
[国・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留

河川区域
[国・県・市・利水者]
治水ダム等の建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/
住まい方の工夫 氾濫域

[国・市、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
[国・県・市]
二線堤の整備、
自然堤防の保全



流域治水のイメージ図(国土交通省)

③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]
長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

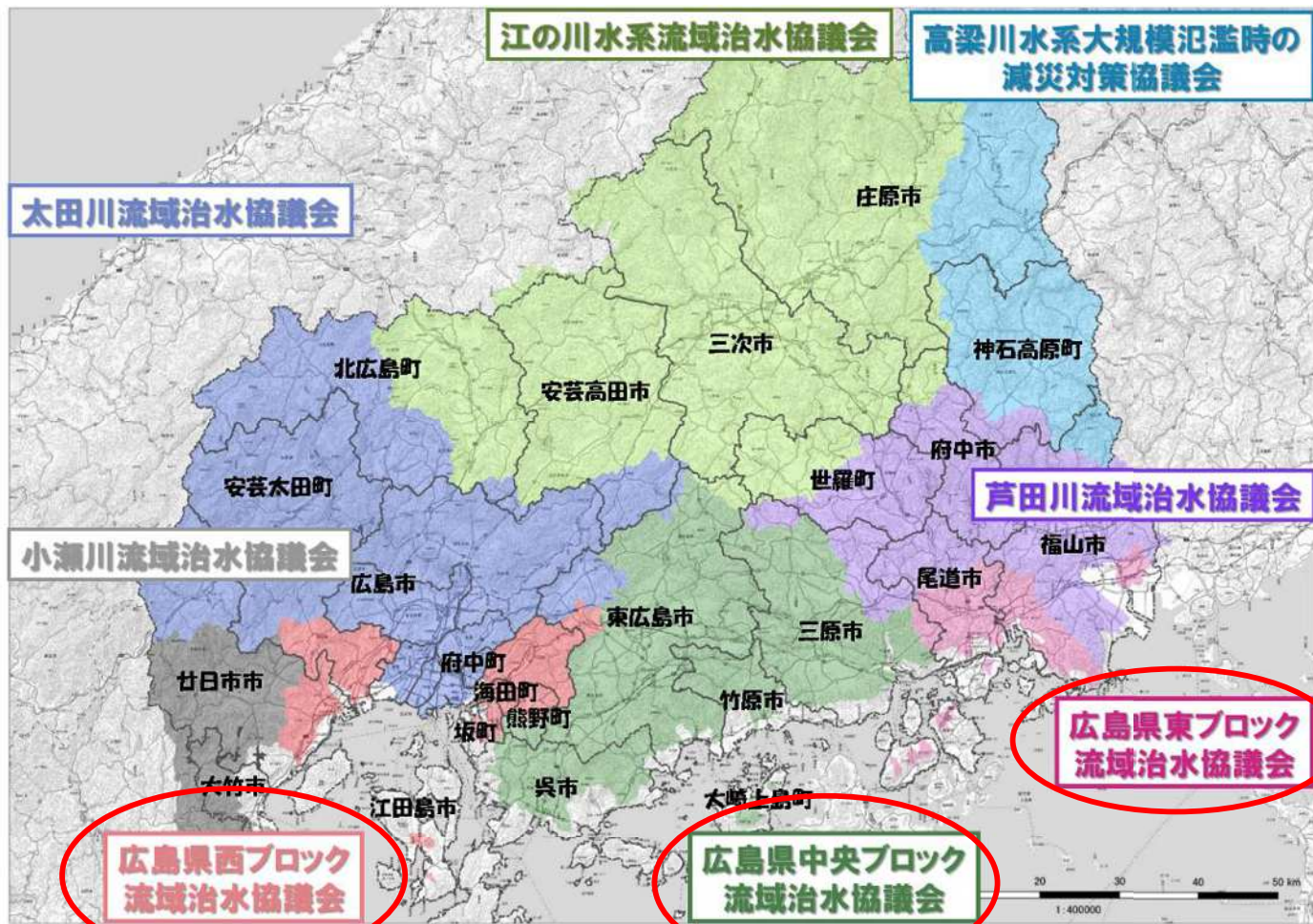
氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体

流域治水協議会

流域治水を計画的に推進するためにあらゆる関係者が協議・情報共有する場として
本県の二級水系では、令和3年1月に**協議会を設置**



【東ブロック】



【中央ブロック】



【西ブロック】



**広島県東ブロック
流域治水協議会**

**広島県西ブロック
流域治水協議会**

**広島県中央ブロック
流域治水協議会**

河川整備に加え、流域の市町村などが実施する対策メニューなど、治水対策の全体像について、**流域治水プロジェクト**として示している。県内全ての二級水系において、令和3年度末までに流域治水プロジェクトを策定し、公表



流域治水プロジェクト

流域治水プロジェクトの各取組について、治水対策等の全体像を分かりやすく伝えるため、取組の**概要説明資料**を作成・公表し、毎年更新を実施

各取組を見える化

二級水系 流域治水プロジェクト 黒瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】 令和6年度版 中央ブロック

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

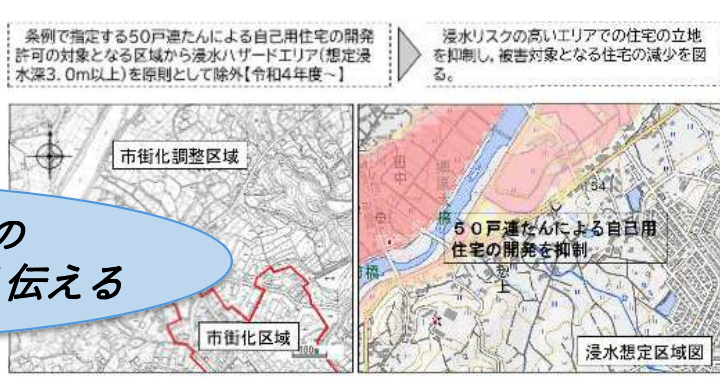


浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化

- 50戸連たんによる開発許可に係る条例区域から浸水ハザードエリアを除外。

条例で指定する50戸連たんによる自己用住宅の開発許可の対象となる区域から浸水ハザードエリア(想定浸水深3.0m以上)を原則として除外【令和4年度〜】

浸水リスクの高いエリアでの住宅の立地を抑制し、被害対象となる住宅の減少を図る。



利水ダム等における事前放流の実施・体制構築

●大雨が予想される場合に、あらかじめ発電取水によりダムの水位を下げることで、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保。



洪水・内水ハザードマップの作成・周知、河川監視カメラの設置、出前講座等を活用した防災教育、マイ・タイムラインの作成及び活用の促進

●ハザードマップの作成・周知、出前講座等を通して、災害に応じた適切な避難行動をとれることを目的とする。

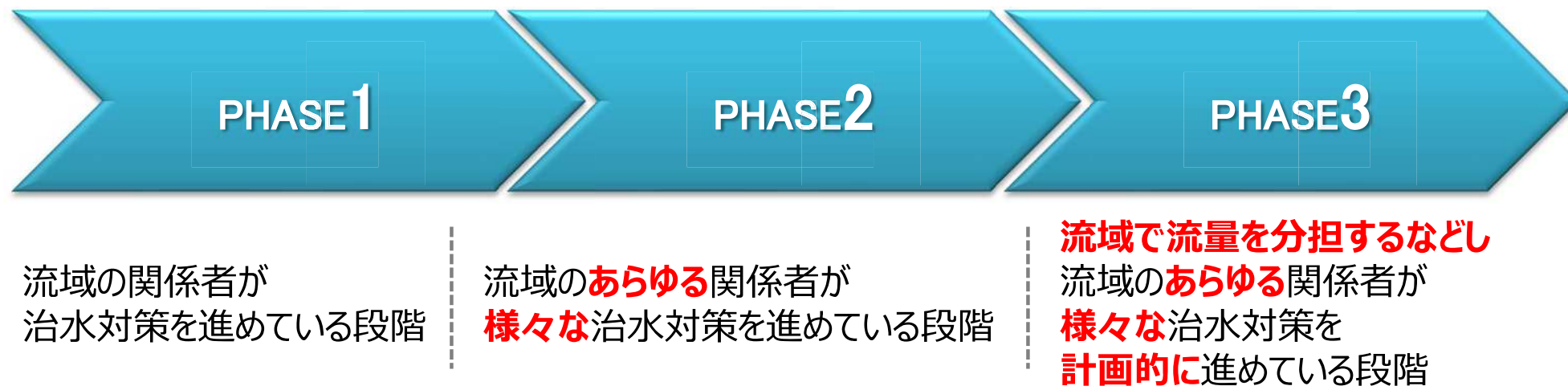
事業概要	事業効果	ハザードマップ
<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの作成(平成18年度〜) 河川監視カメラの設置(平成28年度〜) 出前講座を活用した防災教育 ひろしまマイ・タイムラインの推進(令和2年度〜) 	<ul style="list-style-type: none"> 正確な情報把握 市民への避難指示などの情報提供 自主防災活動の支援 市民の防災力向上を図る 	

河川観測情報の公開	VR教材(消防局)	ひろしまマイ・タイムライン

流域における治水対策の全体像を住民へわかりやすく伝える

流域治水プロジェクトの充実に向けて

「流域治水」の進捗度（どの段階か）を以下の通り示している
一部水系を除き、基本的にはフェーズ1の段階とし、新たな治水対策に取り組むための検討を進めるなどし、フェーズ2を目指していく
さらに、現況の水害リスクや近年発生した浸水被害状況などを踏まえ、必要に応じてフェーズ3を目指していく



《R8.3時点》

- フェーズ3：2水系（手城川水系、本川水系）
- フェーズ2：4水系（黒瀬川水系、堺川水系、本郷川水系、山南川水系）
- フェーズ1：41水系（上記以外の水系）

※評価を行うにあたって、明確な評価基準はありません。積極的に様々な主体が多様な取組を行っているか等を総合的に判断しています。

流域治水プロジェクト目次

➤ 手城川水系流域治水プロジェクト.....	1, 2
➤ 黒瀬川水系流域治水プロジェクト.....	3, 4
➤ 本川水系流域治水プロジェクト.....	5, 6
➤ 永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系・流域治水プロジェクト.....	7, 8
➤ 永田川水系・小鹿野川水系・田中川水系流域治水プロジェクト.....	9, 10
➤ 瀬野川水系・矢野川水系・総頭川水系・尾崎川水系流域治水プロジェクト.....	11, 12
➤ 八幡川水系・岡ノ下川水系流域治水プロジェクト.....	13, 14
➤ 高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系・小原川水系流域治水プロジェクト.....	15, 16
➤ 沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト.....	17, 18
➤ 二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト.....	19, 20
➤ 木谷郷川水系・賀茂川水系・高野川水系・蛇道川水系・三津大川水系流域治水プロジェクト.....	21, 22
➤ 野呂川水系流域治水プロジェクト.....	23, 24
➤ 大正川水系・熱田川水系・沖田川水系・重井川水系・倉崎川水系・大河原川水系流域治水プロジェクト.....	25, 26
➤ 藤井川水系・栗原川水系・大田川水系流域治水プロジェクト.....	27, 28
➤ 本郷川水系・羽原川水系・新川水系・山南川水系・才戸川水系・本谷川水系流域治水プロジェクト.....	29, 30

○ 手城川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成29年9月及び平成30年7月豪雨相当の降雨に対し床上浸水を解消するため、河道掘削や排水機場の整備、雨水幹線・雨水ポンプ場整備を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、平成7年7月豪雨相当の降雨に対しても床上浸水の解消に向けて引き続き河道掘削等を実施。あわせて逃げ遅れゼロを目指した、浸水想定区域の指定・公表や危険箇所の周知、危機管理型水位計および河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る。

■事業規模
河川対策 (約92億円)
下水道対策 (約252億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	排水機場ポンプ増設済	下流域護岸整備 中流域拡幅済	河川改修(手城川)
		福山市	河川改修(谷地川)	100mm/h安心プラン	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	福山市			雨水貯留施設の浚渫
		福山市			貯留施設の低水位管理等
	⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業
⑥土砂流出対策	広島県		砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
		福山市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	福山市		内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、福山市			関係機関との各種連携

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

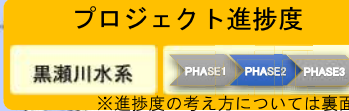
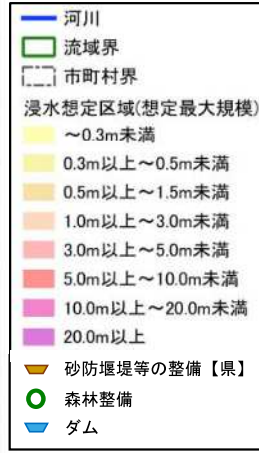
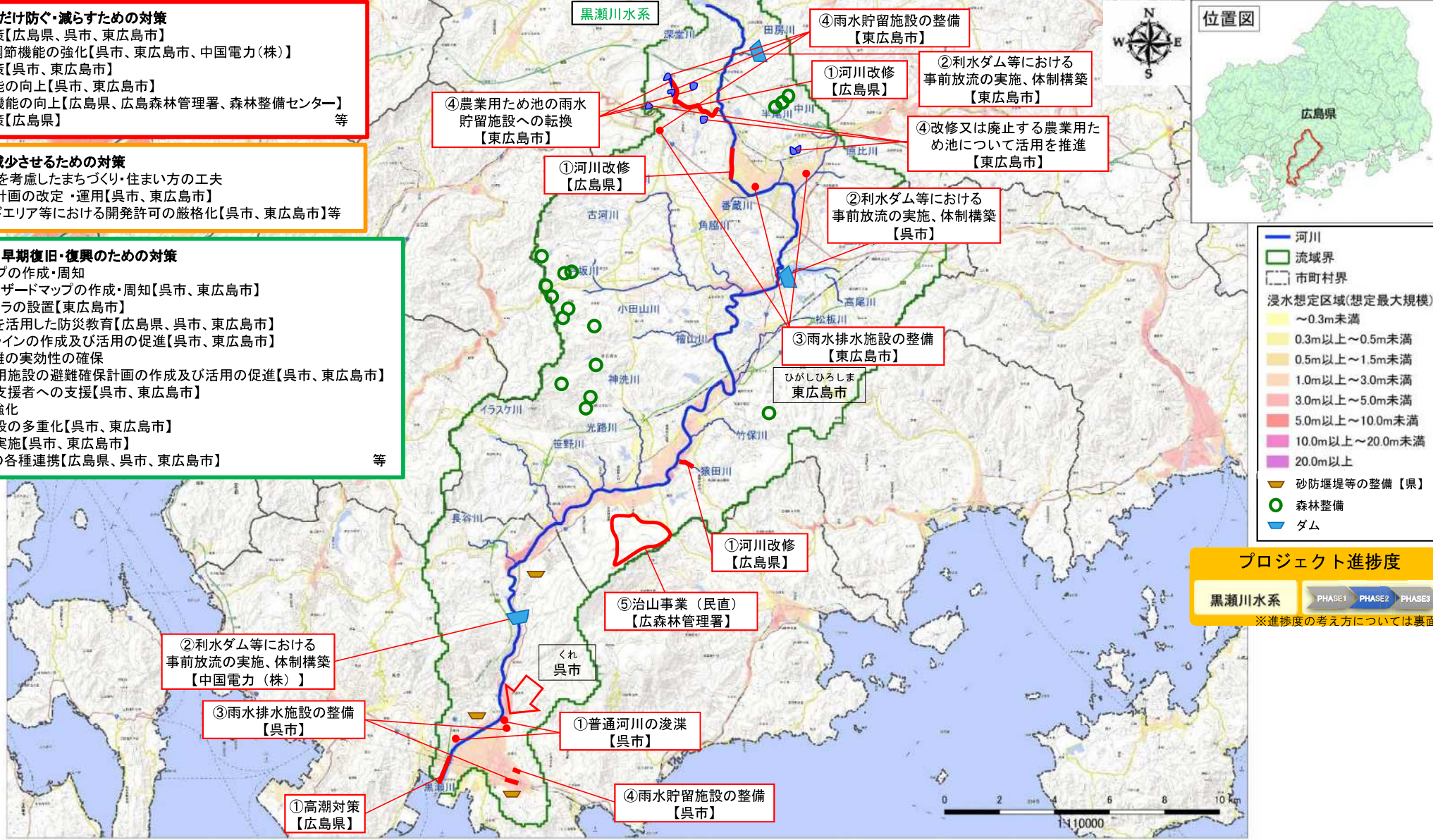
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市、東広島市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化【呉市、東広島市、中国電力(株)】
- ③内水氾濫対策【呉市、東広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】 等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【呉市、東広島市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、東広島市】
 - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化【呉市、東広島市】
 - ・水防訓練の実施【呉市、東広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、東広島市】 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 黒瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	高潮対策		
		呉市、東広島市	河川改修		
	②ダム洪水調節機能の強化	呉市、東広島市、中国電力(株)	浚渫【呉市、東広島市】		
		呉市、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(三永ダム、田房ダム、二級ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市、東広島市	雨水排水施設の整備【呉市、東広島市】 雨水排水施設の長寿命化、耐水化【呉市】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、東広島市	雨水貯留施設の整備【呉市、東広島市】		
		東広島市	農地等の保全		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
		東広島市	改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進 農業用ため池の雨水貯留施設への転換		
⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、東広島市	防災指針策定済【呉市】		
		呉市、東広島市	開発許可の厳格化済 立地適正化計画の改定・運用 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成【呉市】 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成済【東広島市(西条、寺家排水区)】 関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとして、近年、浸水被害が頻発している本川水系では、平成30年7月豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を推進していくことで、流域における浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市】
- ②ダム洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【竹原市】
- ④雨水貯留機能の向上【竹原市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、竹原市】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【竹原市】

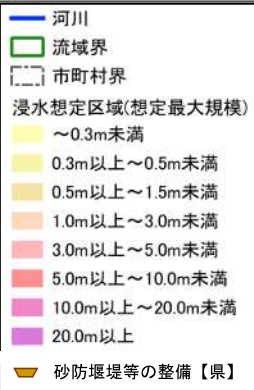
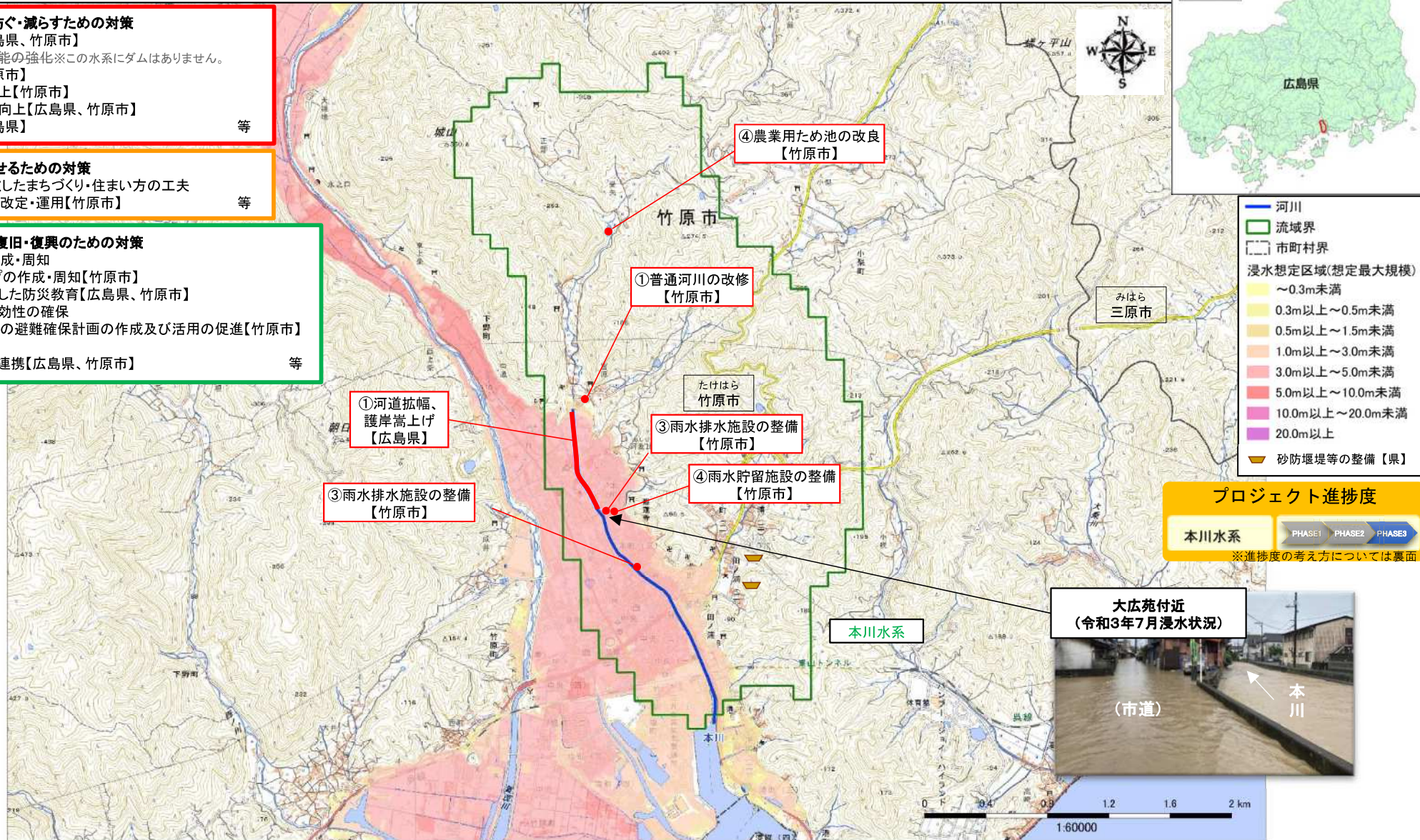
等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【竹原市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、竹原市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【竹原市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・関係機関との各種連携【広島県、竹原市】

等

位置図



プロジェクト進捗度

本川水系

PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

大広苑付近
(令和3年7月浸水状況)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 本川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨相当の洪水から床上浸水被害を解消するため、河道掘削や土砂流出対策等の治水対策を実施。
- 【中期・中長期】平成30年7月豪雨相当の洪水を安全に流下させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河道拡幅、護岸嵩上げ(本川)		
		竹原市	普通河川の改修		普通河川の改修、浚渫
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	竹原市	農業用ため池の改良	雨水貯留施設の整備	
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、竹原市	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	竹原市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	竹原市、(広島県)	洪水・内水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	竹原市			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、竹原市			関係機関との各種連携

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト

二級水系
流域治水プロジェクト

【ロードマップ】

令和7年度版

西ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永慶寺川・御手洗川・可愛川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修		
		廿日市市	普通河川の浚渫		
	③内水氾濫対策	廿日市市	雨水排水施設の耐水化		雨水排水施設の整備、長寿命化
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	廿日市市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
		廿日市市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	廿日市市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	廿日市市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、廿日市市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

永田川水系・小鹿野川水系・田中川水系流域治水プロジェクト

令和7年度版

西ブロック

二級水系
流域治水プロジェクト

【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【江田島市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【江田島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、江田島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【江田島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【江田島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【江田島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【江田島市】
 - ・水防訓練の実施【江田島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、江田島市】



位置図



プロジェクト進捗度



※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永田川・小鹿野川・田中川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	江田島市	農業用水利施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	江田島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	江田島市			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩関係機関との各種連携	広島県、江田島市			関係機関との各種連携



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

・尾崎川水系流域治水プロジェクト【位置図】

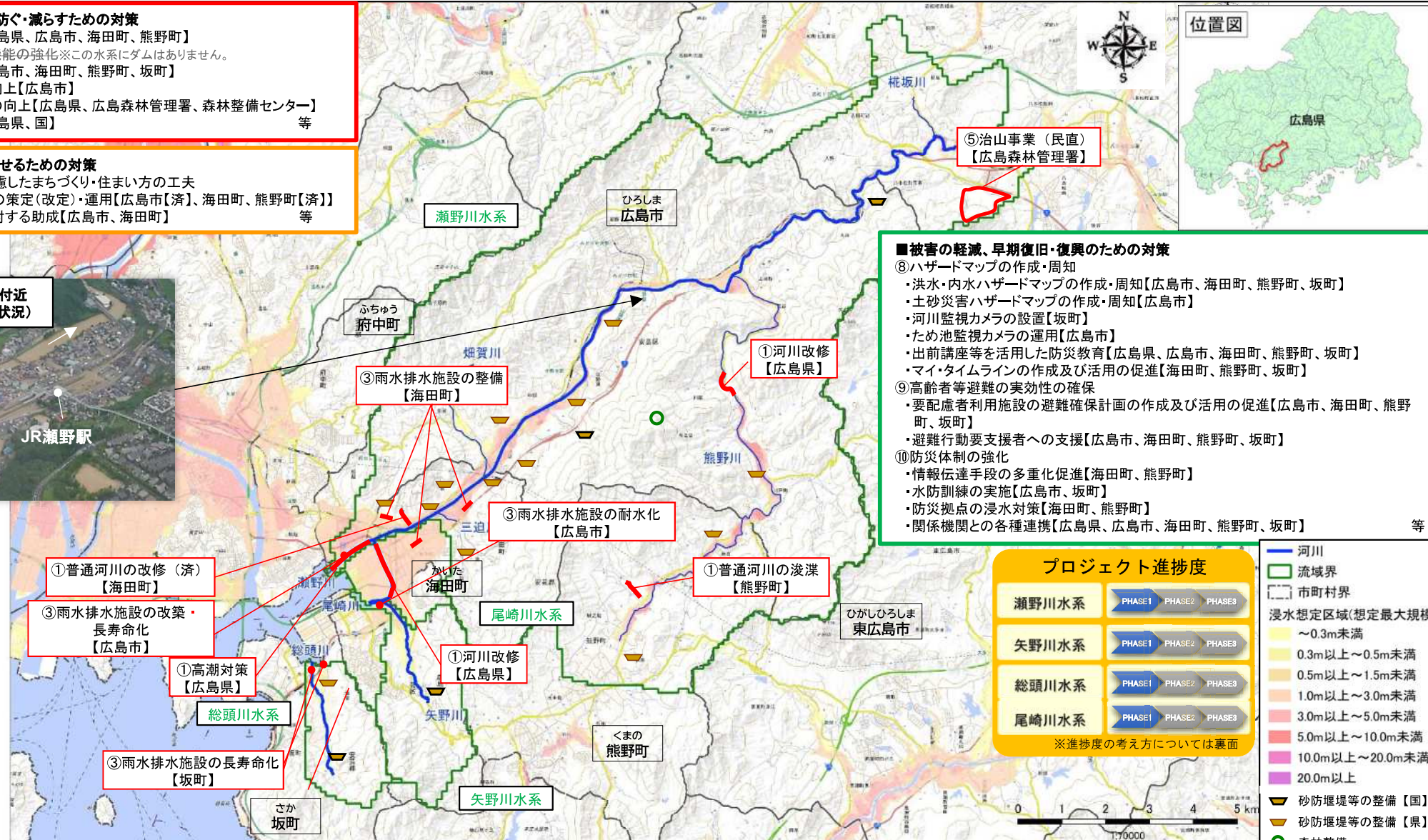
～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策【広島県、広島市、海田町、熊野町】
 - ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
 - ③内水氾濫対策【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ④雨水貯留機能の向上【広島市】
 - ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
 - ⑥土砂流出対策【広島県、国】

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【広島市【済】、海田町、熊野町【済】】
 - ・止水板の設置に対する助成【広島市、海田町】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・土砂災害ハザードマップの作成・周知【広島市】
 - ・河川監視カメラの設置【坂町】
 - ・ため池監視カメラの運用【広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【海田町、熊野町、坂町】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・避難行動要支援者への支援【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【海田町、熊野町】
 - ・水防訓練の実施【広島市、坂町】
 - ・防災拠点の浸水対策【海田町、熊野町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 瀬野川・矢野川・総頭川・尾崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(熊野川) → 高潮対策(瀬野川)・河川改修(尾崎川)		
		広島市、海田町、熊野町	普通河川の改修【熊野町、海田町(済)】、浚渫【熊野町】 → 普通河川の改修、浚渫【広島市】		
	③内水氾濫対策	広島市、海田町、坂町	雨水排水施設の整備【海田町】、改築・長寿命化・耐水化【広島市】、耐水化【坂町】 → 雨水排水施設の長寿命化【坂町】		
		熊野町	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市、海田町、熊野町	防災指針策定済【海田町、熊野町】	防災指針作成済【広島市】	立地適正化計画の策定済・運用【熊野町】 → 立地適正化計画の改定・運用
		広島市、海田町	止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象) → 洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市、坂町(未定)】		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、海田町、坂町、(広島県)	土砂災害ハザードマップ作成【広島市】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市、海田町、熊野町、坂町	洪水・内水ハザードマップ作成済【海田町】	洪水ハザードマップ作成済【熊野町】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえ、
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

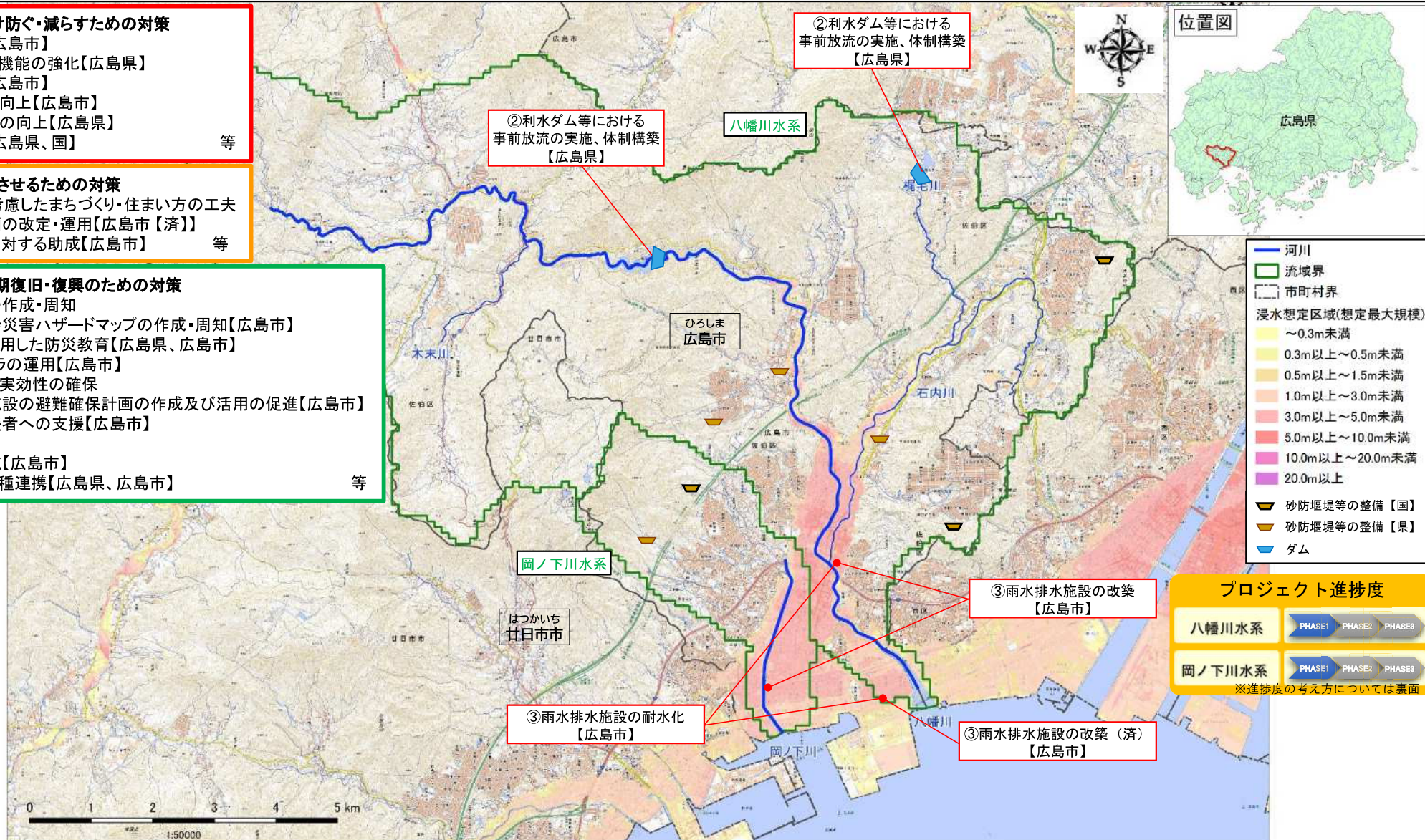
- ①洪水氾濫対策【広島市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【広島市【済】】
 - ・止水板の設置に対する助成【広島市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水・土砂災害ハザードマップの作成・周知【広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市】
 - ・ため池監視カメラの運用【広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・水防訓練の実施【広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 八幡川・岡ノ下川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島市	普通河川の改修、浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(魚切ダム、梶毛ダム)		
	③内水氾濫対策	広島市	雨水排水施設の改築 雨水排水施設の耐水化		
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市	防災指針作成済	立地適正化計画の改定・運用	
		広島市	止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、(広島県)	洪水、内水及び土砂災害ハザードマップ作成【広島市】		
			出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市	関係機関との各種連携		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階